



学校教育目標
家庭・地域と連携・協働し
未来へ向かって
かがやく子どもを育てる
Cha Cha Cha なりたい自分になる

最高の天気のもと、笑顔も満開の遠足でした！



5月14日(木)は春の遠足でした。この日は、さわやかな日差しが降り注ぐ、本当に気持ちのよい最高の遠足日和となりました。



左：1年生
かしわ公園
[往復3km]
右：2年生
中央公園
[往復4km]

左：3年生
すずらん公園
[往復6km]
右：4年生
宝来中央公園
[往復8km]



左：5年生
札内北公園
[往復9km]
右：6年生
いなほ公園
[往復9.4km]

春の遠足には、「楽しい思い出をつくる」という目的だけではなく、実は学級づくりの上で大切な意味があります。新しい友達や先生と一緒に時間を過ごし、約束やきまりを守って集団で活動することで、互いの理解が深まり、絆やチームワークが育まれます。だからこそ、この“春”の遠足は、これからの学校生活の土台をつくる非常に大切な行事だと言えます。その点から見ても、今回の遠足はどの学級も大成功だったのではないのでしょうか。(写真の子どもたちの姿から、その様子を感じ取っていただくと幸いです。)

一段と深めた絆を力に変え、これから運動会に向けての取組が本格的に始まります。6月6日(土)の運動会が素晴らしいものになるよう全校みんなで頑張ります。応援をよろしくお願いいたします。

様々な“大人”との関わりの中で子どもを育む

小学校では、かつては学級担任が全ての教科を教える形が中心でした。しかし現在は、ALTによる外国語の授業や専科教員による指導など、複数の教員が関わりながら子どもたちを支える場面が増えています。

これは、単に授業を分担するためだけではありません。子どもたちにとって、多様な大人と関わりながら学ぶことには非常に大きな意味があります。例えば、教科ごとの専門性を生かした授業に触れることで、「もっと知りたい」「やってみたい」という意欲が高まります。また、先生によって考え方や伝え方、得意なことが異なるため、子どもたちはさまざまな価値観や表現に出会うことができます。さらに、一人の担任だけでなく複数の教員が子どもの姿を見取ることで、多面的に子どもの成長を捉えやすくなります。「この場面で頑張っていた」「こんなよさが見られた」といった気づきが広がり、子ども自身の自信や安心感にもつながっていきます。

そして、このような「多くの大人との関わりの中で子どもを育む」という考え方は、学校の中だけにとどまりません。PTAや地域の皆様とのつながりもまた、子どもたちの学びや成長を豊かにする大切な力です。様々な大人との関わりの中で、子どもたちは安心感や社会性、自分の役割を実感しながら育っていきます。これからも、学校・家庭・地域が力を合わせ、子どもたちの成長を様々な角度から支えていければと思います。



右の写真はALTのダニエル先生との授業の一コマ。ひと昔前であれば、きっと「がいじん」なんて言って怖がっていたかもしれません。しかし、今の子どもたちは、「ダン先生～!」と喜んで近づいていってコミュニケーションを取ります。子どもたちの未来がとても楽しみになる瞬間です。

東っ子のチャレンジ チャンスにチャレンジ、なりたい自分にチェンジ!



子どもの詩 サイロ5月入選
No.797 掲載

T・H さん (2年)
T・K さん (5年)

ふゆのじてん車
二年 T・H
わたしはじてん車が
すきです
なぜがきて
気もちいいからです
だけどふゆになると
じてん車はものおきで
るすばんです
さびしかったよね
さむかったね
くらくて せまくて
こわかったよね
はるがきたよ
またいっぱいあそぼうね

たくろうとの別れ
五年 T・K
ぼくの友達のたくろうが
転校してしまった
たくろうは
時々ぼくとけんかして
時々気が合う友達だった
雨の中やったドッジボール
河川じきのまぶしい空
一緒にもらった金メダル
大声で歌った変なかえ歌
たくろう
たくさん思い出を作れたね
楽しい時間をすごせたよ
大人になったらまた会おう

子どもたちのチャレンジは学校だけにとどまりません。少年団や習い事など、どんな取組も全てが子どもたちの経験となり、成長につながっています。「東小だより」では、そういった校外の活動の中での活躍を今年度も紹介していきたいと思っています。大会やコンクールの結果等、紹介可能なものがありましたら、ぜひ校長室まで報告に来てください！（賞状やメダルなどがある場合は、学校へもたせてください）